

月刊

## 社協だより

平成29年  
8月号社協  
かるが発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL: 844-0826

八月六日、スタジオK（代表平田紀子）が第一回狩留家なす料理教室を開講しました。高陽公民館に予約が必要ですが、毎月第一日曜日の十時から狩留家集会所で狩留家なすを中心とした料理を作ります。参加料は材料代のみ、定員十二名の小所帶の料理教室です。皆様のご参加をお待ちしています。

八月十日、県社協主催の夏季大学が開催され、その中の演題の一つ「夕張市の破綻後の市民の健康について」森田洋之医師が講演されました。人生の最期に救急車で病院に運び込まれ、病棟で最期を迎えるのがよいのか、自宅でゆっくりと「人生を尽くして天命を待つ」老衰死を迎えるのが良いのかを問う内容の講演でした。

夕張市の入院病床は破綻前には百七十一床あつたが、破綻後その約十分の一の十九床に減少したのです。その為、市民の意識が変わり救急車の使用も控え、出来るだけ自

宅で療養するようになつたとのことです。破綻後はがん、心疾患、肺炎の三大死因での死亡率が低下したが、総死亡率は破綻前と同じ横ばいであった。それは、自宅での老衰死、自然死が増えた結果であると話されました。

人工呼吸器やチューブで栄養補給したり、無意識にチューブをはずしたり

狩留家は今、小さい拠点を創ろうとしています。拠点整備に当たって皆さんのが最も迎え方の意識が必要になってきます。家族や友達等と話し合ってみて下さい。（会長記）

そのあと各サロンや小学校・保育園で平和の願いを込めて折った千羽鶴を献納しました。湯坂ふれあいサロンは、献花もされました。

保育園児と小学生がうたつた「ピースウエーブ」は、”平和への思いは、私たちが受け継ぎます”という強い決意を感じました。最後に教頭先生が「八月六日は、平和記念式典があります。テレビを見ながら家族の人と平和について考えてください」と言われました。

開いた話として、当時の惨状を話してくださいました。

（敬老祝賀会について）

（議題）

（報告）

（報告）